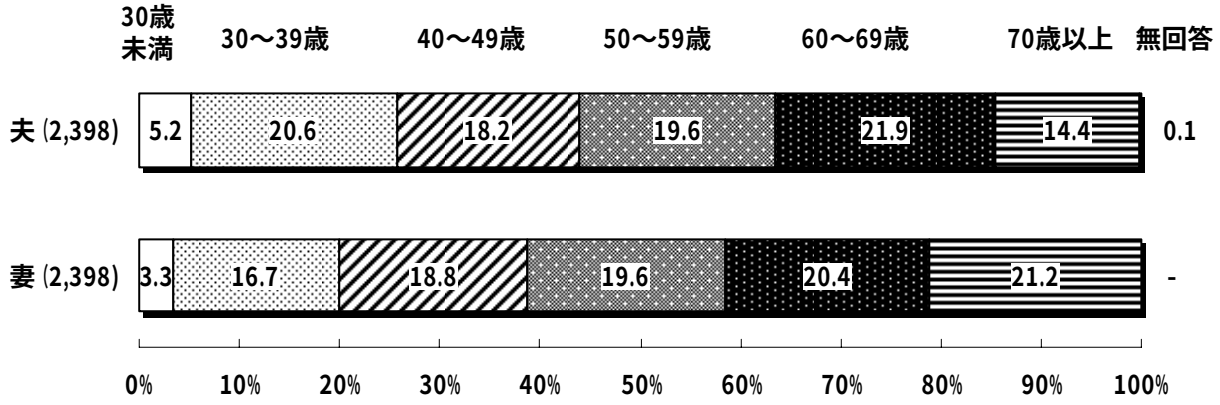
第７章　夫婦の状況

本章では、集計対象世帯 3,775 世帯のうち、夫婦である 2,398 組の状況について述べる。（同一世帯に 2 組以上の夫婦がいる場合は、それぞれを集計の対象とした。）

１　夫婦の年齢階級

夫の年齢階級は「60～69 歳」が 21.9%、次いで「30～39 歳」が 20.6%、「40～49 歳」が 18.2%と続く。妻の年齢階級は「70 歳以上」が 21.2%、「60～69 歳」が 20.4%、「50～59 歳」が 19.6%と続いている。(図Ⅰ-7-1)

図Ⅰ-7-1　夫婦の年齢階級

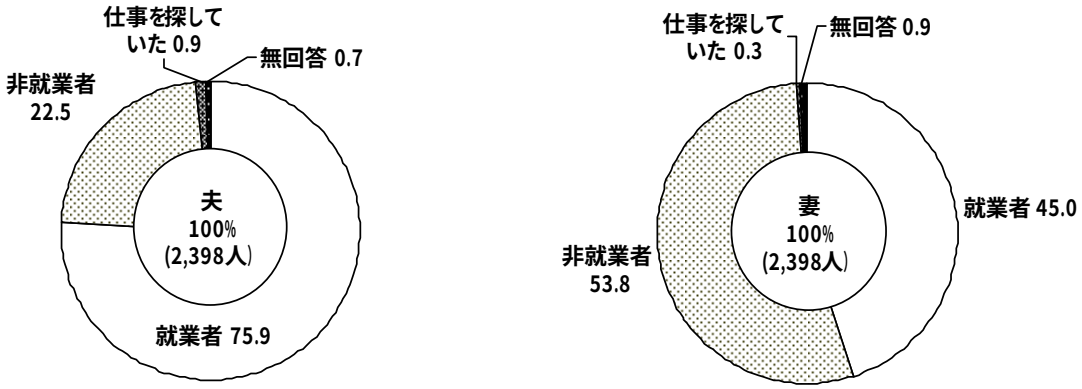


２　夫婦の就業の状況

（１） 夫婦の就業の状況

夫婦の就業の状況をみると、「就業者」の割合は、夫が 75.9%、妻は 45.0%となっている。(図Ⅰ-7-2)

図Ⅰ-7-2 夫婦の就業の状況



（2） 夫婦の就業の状況－夫、妻の年齢階級別

「夫婦とも就業」している世帯の、夫・妻の年齢階級は、夫・妻ともに 30～50 代の割合が高い。

夫婦の就業の状況を夫、妻の年齢階級別にみてみると、「夫婦とも就業」の割合は、夫・妻ともに 30～50 代が高い。（約 50%～65%）また、「夫のみ就業」の割合は夫、妻の年齢ともに 30 歳未満の割合が高く、それぞれ 5 割を超えている。(表Ⅰ-7-1、表Ⅰ-7-2)

表Ⅰ-7-1　夫婦の就業の状況－夫の年齢階級別

		総数	夫婦とも就業	夫のみ就業	妻のみ就業	夫婦とも非就業	無回答
総数		100.0 (2,398)	41.2	34.3	3.7	19.6	1.2
夫の年齢	30歳未満	100.0 (80)	41.3	53.8	2.5	1.3	1.3
	30～34歳	100.0 (189)	49.2	49.7	0.5	-	0.5
	35～39歳	100.0 (211)	52.1	46.9	0.5	-	0.5
	40～44歳	100.0 (235)	55.3	43.4	-	0.4	0.9
	45～49歳	100.0 (216)	59.7	37.5	1.9	-	0.9
	50～54歳	100.0 (170)	64.7	32.4	2.4	-	0.6
	55～59歳	100.0 (299)	55.5	36.5	4.7	2.3	1.0
	60～64歳	100.0 (203)	41.4	38.4	4.4	13.8	2.0
	65～69歳	100.0 (286)	28.3	29.4	8.7	31.8	1.7
	70～74歳	100.0 (239)	13.8	19.2	7.1	59.4	0.4
	75～79歳	100.0 (161)	9.3	12.4	5.0	71.4	1.9
	80～84歳	100.0 (73)	6.8	9.6	4.1	74.0	5.5
	85歳以上	100.0 (36)	-	11.1	2.8	83.3	2.8

表Ⅰ-7-2　夫婦の就業の状況－妻の年齢階級別

		総数	夫婦とも就業	夫のみ就業	妻のみ就業	夫婦とも非就業	無回答
総数		100.0 (2,398)	41.2	34.3	3.7	19.6	1.2
妻の年齢	30歳未満	100.0 (124)	41.9	54.0	2.4	0.8	0.8
	30～34歳	100.0 (225)	51.1	48.4	-	-	0.4
	35～39歳	100.0 (236)	49.6	48.1	1.5	0.4	0.4
	40～44歳	100.0 (268)	62.7	34.7	1.3	0.4	0.8
	45～49歳	100.0 (201)	64.2	32.3	2.5	-	1.0
	50～54歳	100.0 (190)	61.6	34.7	2.1	1.6	-
	55～59歳	100.0 (280)	47.9	36.1	6.4	7.9	1.8
	60～64歳	100.0 (270)	30.4	33.0	8.1	27.0	1.5
	65～69歳	100.0 (255)	20.0	24.7	6.7	47.1	1.6
	70～74歳	100.0 (198)	10.6	14.6	6.1	67.7	1.0
	75～79歳	100.0 (99)	6.1	14.1	-	76.8	3.0
	80～84歳	100.0 (31)	-	12.9	-	80.6	6.5
	85歳以上	100.0 (18)	-	16.7	5.6	72.2	5.6

（3） 夫の仕事の種類－夫の年齢階級別

夫の仕事は、「専門的・技術的な仕事」の割合が最も高く、50 歳未満の割合が高い。

夫の仕事の種類を夫の年齢階級別でみてみると「専門的・技術的な仕事」の割合は、50 歳未満が 35～41%、「管理的な仕事」は 50 代で 20%以上、「事務の仕事」は 30 代が 13～14%でそれぞれ総数の割合よりも大幅に高くなっている。（表Ⅰ-7-3）

表Ⅰ-7-3　夫の仕事の種類－夫の年齢階級別

	総数	就業	専門的・技術的な仕事	管理的な仕事	事務の仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	農林漁業の仕事	運輸・通信の仕事	生産工程・労務作業の仕事	その他の仕事	無回答	非就業	無回答
総数	100.0 (2,398)	75.9	26.6	12.5	7.1	7.0	7.5	1.2	0.5	3.8	4.1	4.0	1.7	23.4	0.7
30歳未満	100.0 (80)	96.3	41.3	1.3	8.8	10.0	15.0	1.3	-	11.3	5.0	1.3	1.3	3.8	-
30～34歳	100.0 (189)	99.5	36.5	7.9	14.3	13.2	9.5	1.6	0.5	4.8	5.3	4.8	1.1	0.5	-
35～39歳	100.0 (211)	99.5	38.9	9.5	13.3	12.3	10.9	0.5	-	4.7	2.4	3.8	3.3	0.5	-
40～44歳	100.0 (235)	99.6	40.9	17.9	11.5	6.4	7.7	0.9	0.4	4.3	4.3	3.0	2.6	0.4	-
45～49歳	100.0 (216)	97.2	34.7	19.0	7.9	9.7	9.7	1.4	-	2.3	6.5	4.2	1.9	1.9	0.9
50～54歳	100.0 (170)	97.1	30.0	21.2	8.2	8.8	7.1	1.8	0.6	4.1	4.7	7.6	2.9	2.4	0.6
55～59歳	100.0 (299)	92.0	28.8	21.1	7.4	8.0	8.7	1.0	1.0	6.4	4.7	3.7	1.3	7.0	1.0
60～64歳	100.0 (203)	80.8	25.6	14.8	9.9	4.9	7.9	1.5	0.5	4.4	6.9	3.4	1.0	18.2	1.0
65～69歳	100.0 (286)	58.4	19.9	9.1	1.7	4.5	7.7	2.1	1.4	2.4	3.5	4.2	1.7	40.6	1.0
70～74歳	100.0 (239)	33.1	9.2	7.1	0.8	2.5	3.3	1.7	-	2.1	2.5	2.5	1.3	66.5	0.4
75～79歳	100.0 (161)	22.4	6.2	3.7	0.6	1.9	1.2	-	0.6	0.6	1.2	5.6	0.6	76.4	1.2
80～84歳	100.0 (73)	16.4	2.7	4.1	1.4	-	1.4	-	-	-	1.4	4.1	1.4	80.8	2.7
85歳以上	100.0 (36)	11.1	5.6	-	-	2.8	-	-	-	-	-	2.8	-	88.9	-

（4） 妻の仕事の種類－妻の年齢階級別

妻の仕事は「事務の仕事」の割合が最も高く、特に 40 代で高くなっている。

妻の仕事の種類は、「事務の仕事」の割合が最も高く 13.0%、また、「非就業」の割合も 54.1%と 5 割を超えている。妻の年齢階級別にみてみると、「事務の仕事」の割合は、40 代女性が高くなっている。（40 代前半 21.6%、40 代後半 18.9%）（表Ⅰ-7-4）

表Ⅰ-7-4　妻の仕事の種類－妻の年齢階級別

	総数	就業	専門的・技術的な仕事	管理的な仕事	事務の仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	農林漁業の仕事	運輸・通信の仕事	生産工程・労務作業の仕事	その他の仕事	無回答	非就業	無回答
総数	100.0 (2,398)	45.0	9.2	1.3	13.0	4.1	9.7	-	0.2	0.2	1.8	4.2	1.5	54.1	0.9
30歳未満	100.0 (124)	44.4	12.1	-	14.5	3.2	8.9	-	-	0.8	-	4.8	-	54.8	0.8
30～34歳	100.0 (225)	51.1	13.8	0.4	17.8	2.2	12.9	-	-	0.4	0.9	1.8	0.9	48.4	0.4
35～39歳	100.0 (268)	51.1	12.7	1.1	16.0	1.9	10.1	-	-	0.4	3.4	3.7	1.9	48.5	0.4
40～44歳	100.0 (236)	64.0	12.7	2.1	21.6	4.7	13.1	-	-	0.4	1.7	6.4	1.3	35.6	0.4
45～49歳	100.0 (201)	66.7	14.9	1.0	18.9	10.0	10.0	-	0.5	-	3.0	7.0	1.5	32.8	0.5
50～54歳	100.0 (190)	63.7	7.9	2.6	15.8	8.4	15.8	-	-	-	3.7	6.3	3.2	36.3	-
55～59歳	100.0 (280)	55.0	9.3	1.8	13.6	5.0	15.0	-	0.4	0.4	1.4	5.4	2.9	44.3	0.7
60～64歳	100.0 (270)	38.5	5.6	1.9	11.5	4.8	7.4	-	0.4	-	2.2	3.7	1.1	60.4	1.1
65～69歳	100.0 (255)	26.7	6.3	1.6	5.1	2.0	6.3	-	0.4	-	0.4	3.9	0.8	72.2	1.2
70～74歳	100.0 (198)	16.7	2.5	1.0	3.0	2.0	3.0	-	-	-	1.5	2.0	1.5	82.8	0.5
75～79歳	100.0 (99)	6.1	1.0	-	4.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	90.9	3.0
80～84歳	100.0 (31)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93.5	6.5
85歳以上	100.0 (18)	5.6	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.9	5.6

（５） 公的年金の加入状況－夫、妻の年齢階級別

公的年金に加入していない（老齢年金受給者等）割合は、夫、妻ともに３人に１人。

公的年金の加入状況は夫が「加入している」割合は 63.3%、「加入していない」割合は 35.9%である。一方、妻の「加入している」割合は 64.0%、「加入していない」割合は 34.5%で夫、妻ともに公的年金に「加入していない」（老齢年金受給者等）は、３人に１人となっている。（表Ⅰ-7-5）

表Ⅰ-7-5　公的年金の加入状況－夫、妻の年齢階級別

	総数	加入している	国民年金第1号被保険者	国民年金第2号被保険者	国民年金第3号被保険者（第2号被保険者の配偶者）	加入していない	無回答
総数（夫）	100.0 (2,398)	63.3	14.1	49.0	0.2	35.9	0.8
30歳未満	100.0 (80)	93.8	21.3	70.0	2.5	3.8	1.3
30～39歳	100.0 (400)	97.3	15.3	82.0	-	1.5	1.3
40～49歳	100.0 (451)	94.0	18.6	74.9	0.4	5.3	0.7
50～59歳	100.0 (469)	92.3	24.1	68.0	0.2	6.8	0.9
60～69歳	100.0 (489)	36.2	12.9	23.3	-	63.0	0.8
70～79歳	100.0 (400)	4.5	-	4.5	-	95.3	-
80歳以上	100.0 (109)	1.8	-	1.8	-	97.2	-
総数（妻）	100.0 (2,398)	64.0	15.5	16.3	32.2	34.5	1.5
30歳未満	100.0 (124)	91.1	13.7	26.6	50.8	5.6	3.2
30～39歳	100.0 (493)	95.3	15.6	25.4	54.4	3.2	1.4
40～49歳	100.0 (437)	94.7	18.1	24.3	52.4	4.6	0.7
50～59歳	100.0 (470)	90.9	26.4	19.8	44.7	7.0	2.1
60～69歳	100.0 (525)	19.8	14.3	5.5	-	78.7	1.5
70～79歳	100.0 (297)	1.0	-	1.0	-	97.6	1.3
80歳以上	100.0 (49)	2.0	-	2.0	-	98.0	-

（注）「加入している」…20 歳以上、60 歳未満の方は原則として加入
「加入していない」…20 歳未満で仕事をしていない方、すでに老齢（退職）年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方が該当
「国民年金第１号被保険者」…自営業や学生等
「国民年金第２号被保険者」…厚生年金・共済年金の加入者
「国民年金第３号被保険者」…第２号被保険者の配偶者

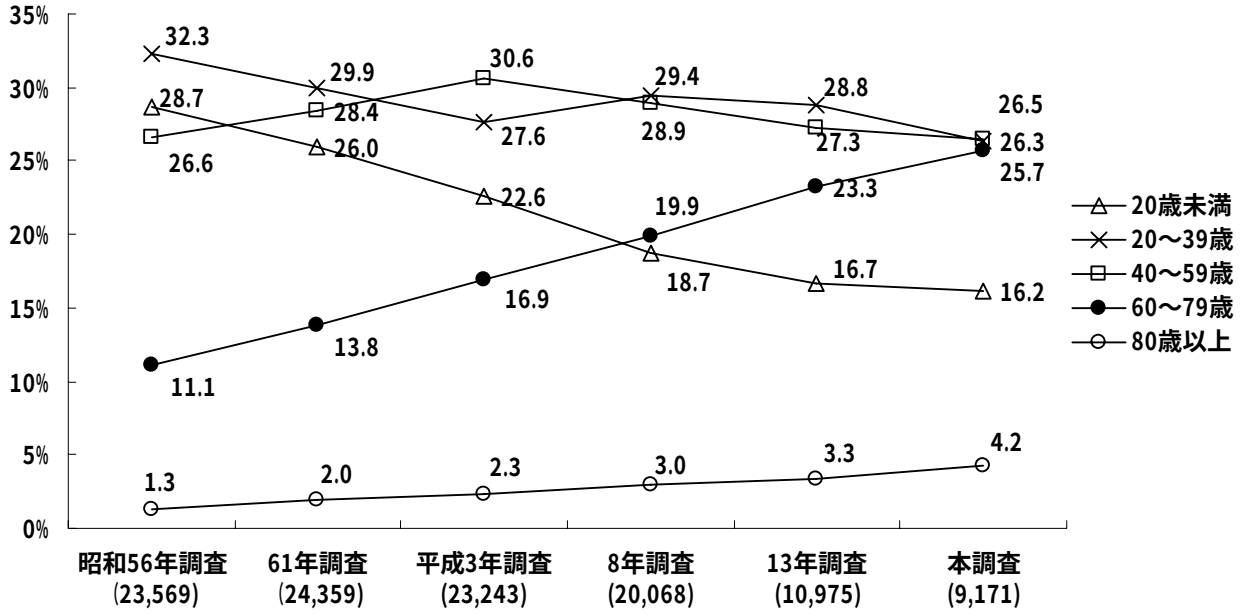
第８章　世帯員の状況

本章では、集計対象者 9,171 人の世帯員の状況について述べる。

１　世帯員の年齢階級の推移－過去調査からの比較

世帯員の年齢階級の推移をみると、「60～79 歳」の割合は、一貫して上昇を続けており、本調査において 25.7%となり、4 人に 1 人が 60、70 代となっている。逆に「20 歳未満」の割合は減少し続けている。（図Ⅰ-8-1）

図Ⅰ-8-1　世帯員の年齢階級の推移－過去調査からの比較



2　配偶者の状況－性・年齢階級別、前回調査との比較

離別により「配偶者なし」となった世帯員が前回調査（13 年）よりも上昇

配偶者の状況をみると、「配偶者あり」は 53.5%、「配偶者なし」は 46.0%となっている。

性別にみると「配偶者あり」は男性 56.3%、女性 51.8%、「配偶者なし」は男性 43.3%、女性 47.5%である。前回調査（13 年）と比べて「離別」が 2.1%から 3.6%に上昇している。（表Ⅰ-8-1）

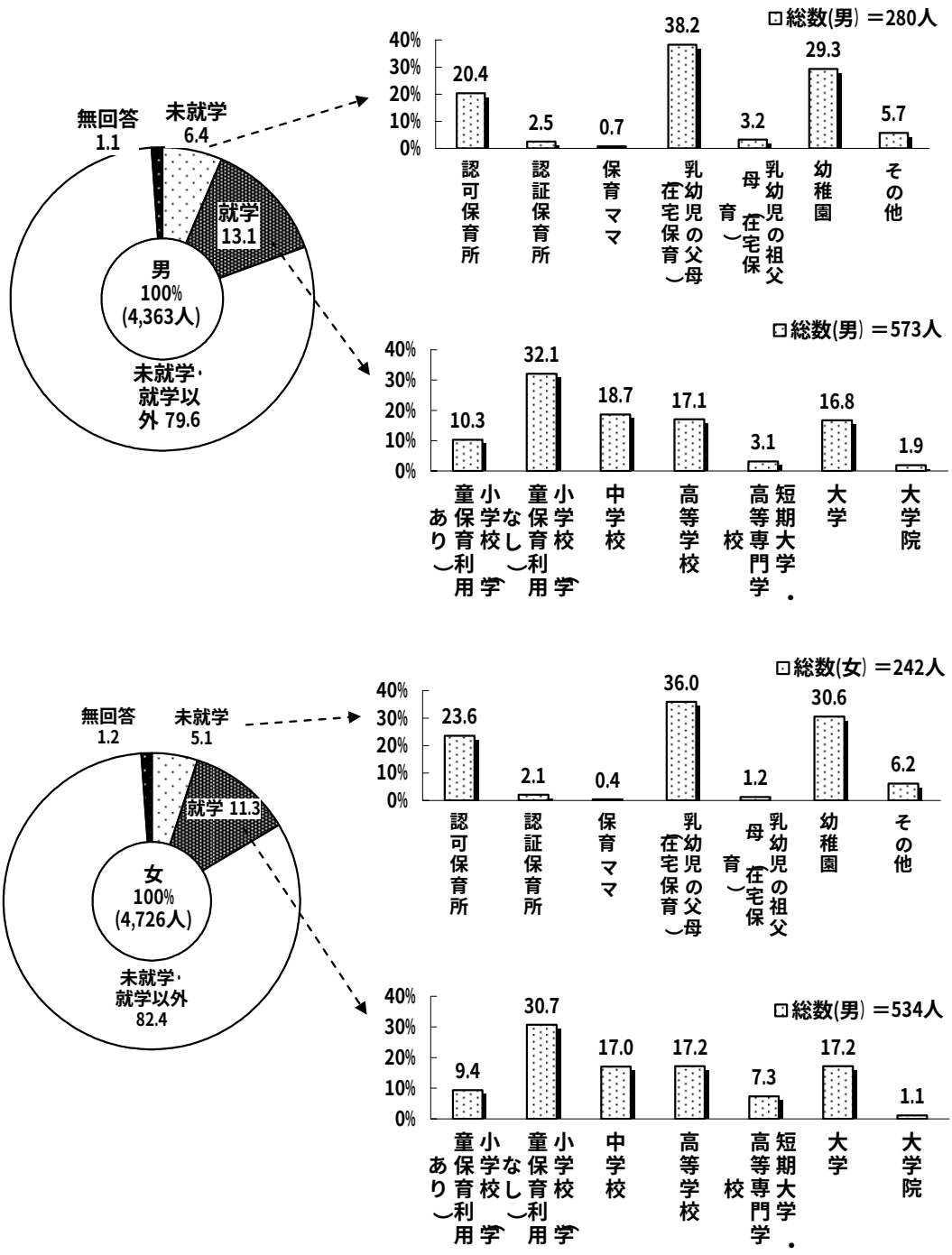
表Ⅰ-8-1　配偶者の状況－性、年齢階級別、前回調査との比較

		総数	配偶者あり	配偶者なし	未婚	死別	離別	無回答
総数		100.0 (9,171)	53.5	46.0	35.7	6.7	3.6	0.6
男		100.0 (4,363)	56.3	43.3	38.0	2.3	3.0	0.4
	20歳未満	100.0 (788)	0.1	99.7	99.7	-	-	0.1
	20～29歳	100.0 (414)	19.6	79.2	78.7	-	0.5	1.2
	30～39歳	100.0 (704)	57.8	41.8	39.3	-	2.4	0.4
	40～49歳	100.0 (617)	74.6	25.1	21.6	0.3	3.2	0.3
	50～59歳	100.0 (605)	78.8	21.2	14.7	0.3	6.1	-
	60～69歳	100.0 (603)	84.4	14.9	5.0	4.3	5.6	0.7
	70～79歳	100.0 (484)	84.5	15.1	3.1	8.7	3.3	0.4
	80歳以上	100.0 (146)	76.0	23.3	0.7	20.5	2.1	0.7
女		100.0 (4,726)	51.8	47.5	32.5	10.8	4.2	0.7
	20歳未満	100.0 (788)	0.1	99.7	99.7	-	-	0.1
	20～29歳	100.0 (526)	24.3	74.0	73.0	-	1.0	1.7
	30～39歳	100.0 (771)	64.9	34.6	28.9	0.3	5.4	0.5
	40～49歳	100.0 (598)	75.8	24.2	16.1	1.2	7.0	-
	50～59歳	100.0 (611)	79.2	20.6	7.2	5.9	7.5	0.2
	60～69歳	100.0 (720)	73.6	25.4	5.7	14.3	5.4	1.0
	70～79歳	100.0 (553)	54.2	44.5	6.1	34.9	3.4	1.3
	80歳以上	100.0 (241)	20.7	78.4	5.4	70.1	2.9	0.8
(再掲) 総数65歳以上		100.0 (2,139)	66.4	32.7	4.8	24.0	3.8	0.9
	男　65歳以上	100.0 (974)	83.6	15.9	3.3	8.8	3.8	0.5
	女　65歳以上	100.0 (1,165)	52.0	46.7	6.1	36.7	3.9	1.3
13年調査		100.0 (10,975)	53.4	44.5	36.3	6.1	2.1	1.7

3　教育・保育の状況[複数回答]－性別

世帯員で「未就学」「就学」の割合を性別にみると、「未就学」の割合は男性 6.4%、女性 5.1%、「就学」の割合は男性 13.1%、女性 11.3%となっている。未就学の内訳をみると男女ともに「乳幼児の父母（在宅保育）」の割合が最も高い。就学の内訳は、男女ともに「小学校（学童保育利用なし）」の割合が最も高くなっている。また、認証保育所（都が独自の基準により認証する保育所）の割合は男性 2.5%、女性は 2.1%であった。（図Ⅰ-8-2）

図Ⅰ-8-2　教育・保育の状況[複数回答]－性別



（注）棒グラフ部分の母集団は未就学、就学の男女それぞれの総数で、本文 78p の母集団とは異なる。

4　傷病の状況[複数回答]－性・年齢階級別

65 歳以上の高齢者では、「病院・診療所に通院中」が 5 割以上

傷病の状況をみると、「傷病あり」の割合は 34.2%、「傷病なし」の割合は 63.3%であった。

性別でみると「傷病あり」の割合は、男性 32.0%、女性 36.5%となっており、女性の割合が男性よりも高い。「傷病あり」の割合は 65 歳以上の高齢者の割合が 67.3%と高く、その内訳をみると「通院・診療所に通院中」は 55.7%となっている。

前回調査（13 年調査）と比べて「傷病あり」は 8.4 ポイント増加した。（表Ⅰ-8-2）

表Ⅰ-8-2　傷病の状況[複数回答]－性・年齢階級別

	総数	傷病あり	病院・診療所に通院中	病院・診療所に入院中	病院・診療所等から往診、訪問診療等を受けている	歯科に入院中又は通院中（訪問診療を含む）	あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている	その他（通院していないなど）	傷病なし	無回答
総数	100.0 (9,171)	34.2	24.3	0.4	0.3	6.1	2.9	3.5	63.3	2.5
男	100.0 (4,363)	32.0	22.9	0.6	0.3	5.5	2.0	3.5	65.6	2.4
0～9歳	100.0 (429)	14.0	9.8	0.2	0.2	2.1	0.2	1.6	83.4	2.6
10～19歳	100.0 (359)	13.4	6.7	-	-	3.6	0.3	3.3	83.6	3.1
20～29歳	100.0 (414)	11.8	3.4	-	-	4.8	0.5	3.1	84.5	3.6
30～39歳	100.0 (704)	14.1	6.7	-	-	3.4	1.3	3.6	84.1	1.8
40～49歳	100.0 (617)	23.0	13.0	0.3	-	5.5	2.3	3.7	74.4	2.6
50～59歳	100.0 (605)	39.7	28.8	0.3	-	7.9	2.5	3.5	57.9	2.5
60～69歳	100.0 (603)	53.4	41.6	1.2	0.2	7.5	3.6	4.1	44.6	2.0
70～79歳	100.0 (484)	67.6	56.6	1.4	1.0	8.3	3.9	4.1	30.4	2.1
80歳以上	100.0 (146)	76.0	65.1	3.4	2.7	6.2	2.1	3.4	22.6	1.4
女	100.0 (4,726)	36.5	25.8	0.3	0.4	6.6	3.8	3.6	61.0	2.5
0～9歳	100.0 (361)	13.0	7.5	0.3	-	2.5	-	2.8	83.1	3.9
10～19歳	100.0 (336)	12.2	4.5	-	-	6.0	0.6	1.2	85.7	2.1
20～29歳	100.0 (526)	17.1	7.4	-	-	5.5	1.5	3.8	79.1	3.8
30～39歳	100.0 (771)	19.8	10.6	-	0.1	5.1	1.6	4.0	77.2	3.0
40～49歳	100.0 (598)	26.9	15.2	-	-	7.2	3.2	4.2	71.1	2.0
50～59歳	100.0 (611)	41.9	28.8	0.2	-	9.3	5.4	3.4	55.8	2.3
60～69歳	100.0 (720)	54.6	39.9	0.7	0.6	8.3	6.3	4.0	43.9	1.5
70～79歳	100.0 (553)	70.5	60.9	0.7	1.3	7.4	8.5	3.4	27.8	1.6
80歳以上	100.0 (241)	80.9	68.9	2.1	3.3	5.4	5.0	4.1	16.6	2.5
(再掲)総数65歳以上	100.0 (2,139)	67.3	55.7	1.3	1.2	7.3	5.7	4.1	30.9	1.8
男　65歳以上	100.0 (974)	64.2	53.5	1.5	0.9	7.2	4.0	4.0	34.0	1.8
女　65歳以上	100.0 (1,165)	70.0	57.5	1.1	1.5	7.5	7.0	4.1	28.2	1.8
13年調査	100.0 (10,975)	25.8	18.9	0.6	0.3	2.6	0.8	2.6	73.3	1.0
8年調査	100.0 (20,068)	24.4	16.0	0.7	0.5	2.7	0.7	3.7	75.2	0.4

（注）傷病の内容（通院等）は 13 年、8 年調査は単数、今回調査は複数回答である。

5　就業の状況

（1）　就業者－性・年齢階級別

「家事などのほかに仕事」をしている人は 40 代女性では約 3 人に 1 人

就業の状況を性、年齢階級別にみると「就業者」の割合は女性（42.7%）よりも男性（61.6%）の割合が高い。前回調査と比べると「家事などのほかに仕事」の割合が増加しており、（6.3→8.5%）、40 代女性が 33.1%と高くなっている。（表Ⅰ-8-3）

表Ⅰ-8-3　就業者－性・年齢階級別

	総数	就業者	主に仕事	家事などのほかに仕事	通学のかたわら仕事	その他	仕事を探していた	非労働力人口	家事（専業）	通学のみ	その他（幼児・高齢・病気等）	無回答
総数	100.0 (9,171)	51.5	40.3	8.5	1.4	1.2	1.4	46.4	15.2	11.7	19.6	0.7
男	100.0 (4,363)	61.6	57.8	0.8	1.4	1.6	1.9	35.7	0.8	12.3	22.7	0.7
0～9歳	100.0 (429)	-	-	-	-	-	-	99.8	-	33.3	66.4	0.2
10～19歳	100.0 (359)	7.8	1.9	-	5.6	0.3	-	91.6	0.3	90.5	0.8	0.6
20～29歳	100.0 (414)	77.5	65.0	0.2	8.9	3.4	3.9	17.4	-	15.7	1.7	1.2
30～39歳	100.0 (704)	93.2	92.2	-	0.4	0.6	4.0	2.3	-	0.1	2.1	0.6
40～49歳	100.0 (617)	95.0	94.2	0.6	0.2	-	2.3	2.4	0.2	-	2.3	0.3
50～59歳	100.0 (605)	90.1	89.3	0.3	-	0.5	2.1	6.9	0.3	-	6.6	0.8
60～69歳	100.0 (603)	65.2	58.5	3.0	-	3.6	1.8	32.0	2.3	0.2	29.5	1.0
70～79歳	100.0 (484)	28.9	23.1	1.7	-	4.1	0.6	69.8	2.3	-	67.6	0.6
80歳以上	100.0 (146)	12.3	7.5	1.4	-	3.4	-	86.3	4.1	-	82.2	1.4
女	100.0 (4,726)	42.7	24.7	15.7	1.5	0.8	0.9	55.6	28.7	10.5	16.3	0.7
0～9歳	100.0 (361)	-	-	-	-	-	-	99.7	-	31.6	68.1	0.3
10～19歳	100.0 (336)	6.5	0.9	-	5.7	-	-	93.2	-	92.0	1.2	0.3
20～29歳	100.0 (526)	68.1	52.5	5.5	8.4	1.7	3.0	28.1	14.3	12.5	1.3	0.8
30～39歳	100.0 (771)	62.6	43.1	17.9	0.3	1.4	2.1	34.6	31.4	0.6	2.6	0.6
40～49歳	100.0 (598)	70.1	36.1	33.1	0.7	0.2	1.0	28.6	27.1	0.2	1.3	0.3
50～59歳	100.0 (611)	62.4	29.3	31.9	-	1.1	1.0	36.2	33.7	-	2.5	0.5
60～69歳	100.0 (720)	36.7	17.9	18.2	-	0.6	-	62.4	47.2	-	15.1	1.0
70～79歳	100.0 (553)	14.3	5.2	8.1	-	0.9	-	84.4	48.8	-	35.6	1.3
80歳以上	100.0 (241)	5.4	1.7	2.5	-	1.2	-	92.9	25.7	-	67.2	1.7
(再掲)総数65歳以上	100.0 (2,139)	26.1	17.7	5.9	-	2.5	0.5	72.4	25.0	-	47.4	1.0
男 65歳以上	100.0 (974)	36.1	29.5	2.2	-	4.5	1.0	62.0	2.6	-	59.4	0.8
女 65歳以上	100.0 (1,165)	17.8	7.8	9.1	-	0.9	-	81.0	43.7	-	37.3	1.2
13年調査	100.0 (10,975)	51.9	44.7	6.3	0.5	0.3	1.7	45.5	15.4	13.0	17.1	0.9

（２） 世帯員の勤め先での呼称－性・年齢階級別

世帯員の就業者の割合は 5 割、その内の約半数が「正規の職員・従業員」

世帯員の勤め先での呼称は雇用者(40.1%)のうち「正規の職員･従業員」が最も高く 24.9%、次いで「パート」5.6%、「アルバイト」3.0%と続く。性・年齢階級別にみると「正規の職員・従業員」の割合は 25～29 歳が最も高く 52.4%、「パート」の割合は 45～49 歳、50～54 歳の階級がそれぞれ最も高く 12.4%となっている。(表Ⅰ-8-4)

表Ⅰ-8-4 世帯員の勤め先での呼称－性・年齢階級別

		総数	就業者	雇用者	正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約職員・嘱託	役員	その他	無回答	その他の就業者	無回答	非就業者	無回答
総数		100.0 (9,171)	51.5	40.1	24.9	5.6	3.0	1.1	2.1	2.5	0.4	0.5	10.0	1.4	47.8	0.7
性別	男	100.0 (4,363)	61.6	48.0	36.1	1.1	2.9	0.6	2.2	4.0	0.5	0.6	12.2	1.4	37.7	0.7
	女	100.0 (4,726)	42.7	33.4	14.9	9.9	3.2	1.5	2.0	1.2	0.3	0.4	8.0	1.4	56.5	0.7
年齢階級	15～19歳	100.0 (346)	14.5	13.0	0.9	0.3	11.3	0.3	0.3	-	-	-	1.2	0.3	85.0	0.6
	20～24歳	100.0 (436)	62.8	55.7	21.8	3.7	23.4	3.4	2.5	-	0.2	0.7	4.6	2.5	36.2	0.9
	25～29歳	100.0 (504)	80.4	71.4	52.4	2.8	6.5	2.8	4.2	1.6	0.8	0.4	6.7	2.2	18.7	1.0
	30～34歳	100.0 (747)	77.8	68.5	51.8	7.0	2.3	2.5	3.1	0.5	0.3	1.1	7.1	2.1	21.4	0.8
	35～39歳	100.0 (728)	76.6	65.7	49.5	7.6	2.1	2.3	1.1	1.6	0.4	1.1	8.8	2.2	22.9	0.4
	40～44歳	100.0 (666)	82.7	68.9	45.9	10.8	2.4	1.8	2.3	3.6	0.9	1.2	12.2	1.7	17.1	0.2
	45～49歳	100.0 (549)	82.7	67.9	47.9	12.4	1.1	0.4	1.5	3.3	0.5	0.9	13.3	1.5	16.8	0.5
	50～54歳	100.0 (461)	80.7	61.0	40.1	12.4	0.9	0.4	1.7	4.6	0.7	0.2	17.1	2.6	19.1	0.2
	55～59歳	100.0 (755)	73.4	56.0	35.5	9.1	1.3	0.7	1.7	6.8	0.3	0.7	15.4	2.0	25.7	0.9
	60～64歳	100.0 (608)	57.2	38.0	14.5	8.1	2.0	1.2	6.7	4.9	0.3	0.3	18.1	1.2	41.6	1.2
	65～69歳	100.0 (715)	43.2	22.5	4.3	5.9	2.9	0.4	3.9	4.1	0.7	0.3	19.6	1.1	55.9	0.8
	70～74歳	100.0 (622)	24.9	11.4	3.1	2.9	0.3	-	1.4	3.2	0.5	-	12.2	1.3	74.4	0.6
	75～79歳	100.0 (415)	15.4	4.8	1.2	0.7	0.2	-	0.2	1.9	0.5	-	10.4	0.2	83.1	1.4
	80～84歳	100.0 (220)	9.1	4.5	0.9	0.5	-	-	0.5	2.7	-	-	4.1	0.5	89.1	1.8
	85歳以上	100.0 (167)	6.6	1.2	-	-	-	-	0.6	0.6	-	-	4.8	0.6	92.2	1.2

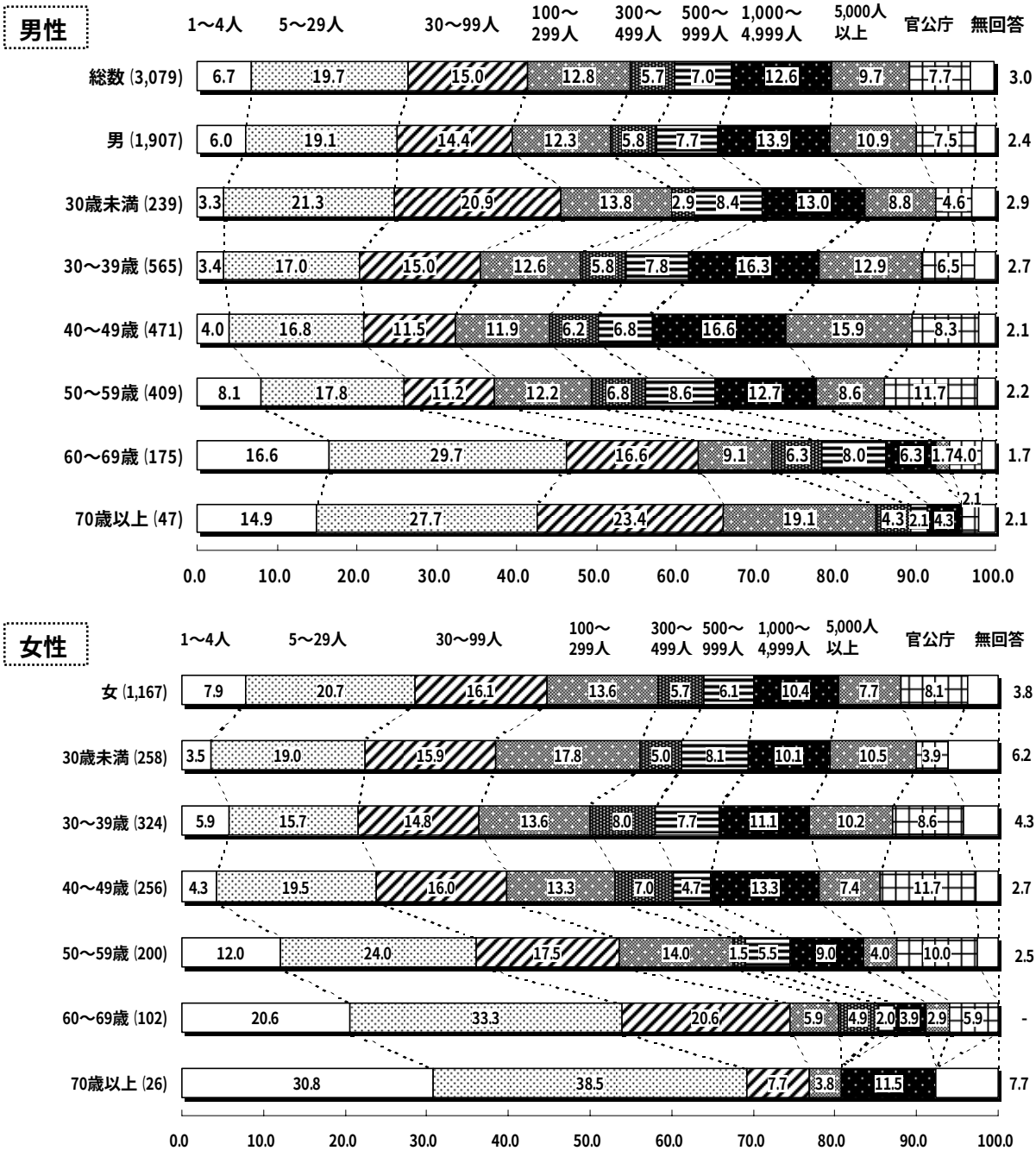
（注）非就業者には「仕事を探していた」者を含む。

（３） 世帯員の従業する企業等の従業者数－性・年齢階級別

男女ともに 60 歳以上では、従業者数 100 人未満の企業で働いている割合が高い。

世帯員で仕事をしている人のうち、「一般常雇者」「1 月以上 1 年未満の契約の雇用者」「日々又は 1 月未満の契約の雇用者」「会社などの役員」と答えた人の企業等の従業者数を性、年齢階級別にみると、男女ともに 60 歳以上では従業者数が 100 人未満（「1～4 人」「5～29 人」「30～99 人」）の割合が高い。（図Ⅰ-8-3）

図Ⅰ-8-3 世帯員の従業する企業等の従業者数－性・年齢階級別



6　医療保険の加入状況－性・年齢階級別

世帯員の医療保険が「国民健康保険加入者（区市町村）」は 4 割弱

世帯員の医療保険の加入状況をみると、「国民健康保険加入者(区市町村)」が 38.6%と最も多く、次いで「被用者保険（政府管掌健康保険、組合管掌健康保険、共済組合等）加入者本人」が 29.0%と続く。（表Ⅰ-8-5）

表Ⅰ-8-5　医療保険の加入状況－性・年齢階級別

		総数	国民健康保険加入者	区市町村	組合	被用者保険加入者	本人	家族	その他	無回答
総数		100.0 (9,171)	41.4	38.6	2.8	55.6	29.0	26.6	2.1	0.9
男		100.0 (4,363)	39.9	37.2	2.8	56.7	40.5	16.3	2.3	1.0
	0～9歳	100.0 (429)	22.1	19.8	2.3	75.3	-	75.3	1.6	0.9
	10～19歳	100.0 (359)	23.7	20.6	3.1	70.5	1.4	69.1	3.3	2.5
	20～29歳	100.0 (414)	28.0	24.9	3.1	69.8	45.4	24.4	1.4	0.7
	30～39歳	100.0 (704)	23.6	21.9	1.7	74.9	73.6	1.3	1.0	0.6
	40～49歳	100.0 (617)	24.8	21.4	3.4	72.1	71.5	0.6	1.9	1.1
	50～59歳	100.0 (605)	30.2	28.1	2.1	66.3	65.3	1.0	2.8	0.7
	60～69歳	100.0 (603)	67.5	63.3	4.1	28.4	27.0	1.3	3.3	0.8
	70～79歳	100.0 (484)	84.7	81.4	3.3	11.4	9.7	1.7	3.3	0.6
	80歳以上	100.0 (146)	87.7	87.0	0.7	6.8	4.8	2.1	2.7	2.7
女		100.0 (4,726)	43.1	40.3	2.9	54.3	18.8	35.5	1.8	0.8
	0～9歳	100.0 (361)	21.6	20.2	1.4	75.3	-	75.3	2.2	0.8
	10～19歳	100.0 (336)	21.7	16.1	5.7	74.4	0.3	74.1	3.0	0.9
	20～29歳	100.0 (526)	25.5	23.2	2.3	72.4	38.4	34.0	1.1	1.0
	30～39歳	100.0 (771)	23.0	21.0	1.9	74.3	36.7	37.6	1.8	0.9
	40～49歳	100.0 (598)	26.4	23.1	3.3	71.7	30.1	41.6	1.3	0.5
	50～59歳	100.0 (611)	34.5	32.1	2.5	63.7	23.7	39.9	0.7	1.1
	60～69歳	100.0 (720)	73.3	69.2	4.2	23.9	8.1	15.8	1.8	1.0
	70～79歳	100.0 (553)	87.2	85.0	2.2	9.6	2.7	6.9	2.7	0.5
	80歳以上	100.0 (241)	81.3	78.4	2.9	16.2	1.7	14.5	2.5	-
(再掲)総数65歳以上		100.0 (2,139)	83.4	80.4	3.0	13.1	7.0	6.1	2.8	0.7
	男 65歳以上	100.0 (974)	82.4	79.3	3.2	13.2	11.7	1.5	3.3	1.0
	女 65歳以上	100.0 (1,165)	84.2	81.3	2.9	13.0	3.1	9.9	2.4	0.4

第９章　子どもの状況

本章では、集計対象者 9,171 人のうち、18 歳未満の子ども 1,392 人の状況について述べる。

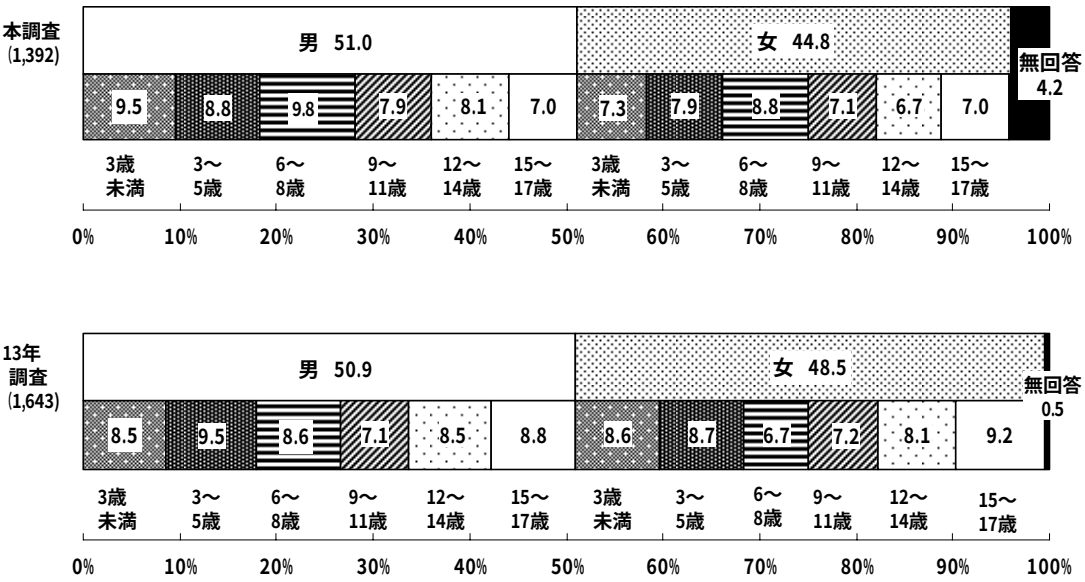
１　子どもの性・年齢階級、子どもがいる世帯－過去調査との比較

前回調査よりも子どもがいる世帯の割合が増加。

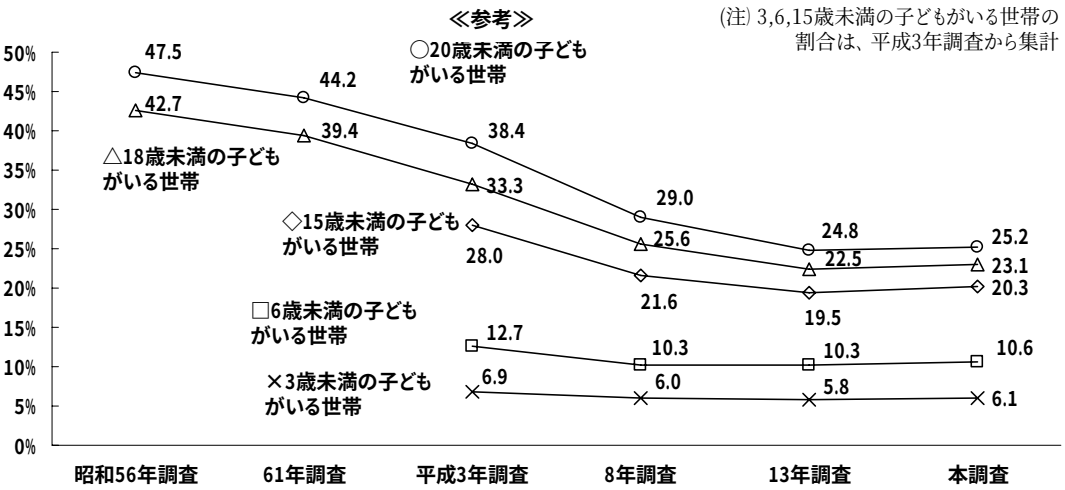
18 歳未満の性・年齢階級をみると、子どもの性別の割合は「男子」51.0%、「女子」、44.8%である。年齢階級では男女ともに「6～8 歳」の割合がそれぞれ高い。（男子 9.8%、女子 8.8%）（図Ⅰ-9-1）

また、子どもがいる世帯の割合は、本テーマの調査を開始してから連続して減少していたが、今回、前回調査(平成 13 年）よりもわずかに増加した。(18 歳未満 22.5→23.1%)(図Ⅰ-9-2）

図Ⅰ-9-1　子どもの性・年齢階級



図Ⅰ-9-2　子どもがいる世帯－過去調査との比較



2　子どもの年齢階級－世帯類型(18 歳未満の子どもがいる世帯）別

子どもの年齢階級は「6～8 歳」の割合が最も高く 18.5%で、世帯類型（18 歳未満の子どもがいる世帯）別にみると「6～8 歳」の割合は子どもとその女親のみの世帯が 28.0%で他の世帯類型の中で最も高くなっている。(表Ⅰ-9-1)

表Ⅰ-9-1　子どもの年齢階級－世帯類型(18 歳未満の子どもがいる世帯）別

	総数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
総数	100.0 (1,392)	16.8	16.7	18.5	15.0	14.8	13.9	4.2
子どもがいる世帯	100.0 (1,388)	16.9	16.6	18.4	15.1	14.8	14.0	4.3
子どもとその両親がいる世帯	100.0 (1,243)	18.3	17.1	18.1	14.2	13.9	14.1	4.3
子どもとその両親のみの世帯	100.0 (1,039)	20.2	18.1	19.6	15.2	14.1	8.7	4.0
その他	100.0 (204)	8.3	12.3	10.3	9.3	12.7	41.7	5.4
ひとり親を含む世帯	100.0 (142)	4.9	12.0	21.8	22.5	21.8	12.7	4.2
母子を含む世帯	100.0 (127)	5.5	11.8	23.6	21.3	20.5	12.6	4.7
子どもとその女親のみの世帯	100.0 (93)	6.5	12.9	28.0	23.7	18.3	6.5	4.3
その他	100.0 (34)	2.9	8.8	11.8	14.7	26.5	29.4	5.9
父子を含む世帯	100.0 (15)	-	13.3	6.7	33.3	33.3	13.3	-
子どもとその男親のみの世帯	100.0 (4)	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-
その他	100.0 (11)	-	18.2	-	27.3	36.4	18.2	-
子どもの両親がいない世帯	100.0 (3)	-	-	-	-	66.7	33.3	-

3　教育・保育の状況[複数回答]－性・年齢階級、世帯類型別

「認可保育所」「小学生（学童保育利用あり）」の割合は核家族世帯の割合が高い。

子どもの教育・保育の状況をみると「未就学」は 39.1%、「就学」は 59.0%となっている。

「未就学」の内訳の割合をみると「乳幼児の父母（在宅保育）」が 14.4%と最も高く、「幼稚園」11.6%、「認可保育所」8.7%などと続く。

世帯類型別でみると、「認可保育所」「小学生（学童保育利用あり）」の割合は、その他の親族世帯よりも核家族世帯の方が割合が高い。（表Ⅰ-9-2）

表Ⅰ-9-2　教育・保育の状況[複数回答]－性・年齢階級、世帯類型別

		総数	未就学	認可保育所	認証保育所	保育ママ	乳幼児の父母（在宅保育）	乳幼児の祖父母（在宅保育）	幼稚園	その他	就学	小学校（学童保育利用あり）	小学校（学童保育利用なし）	中学校	高等学校	短期大学・高等専門学校	大学	未就学・就学以外	無回答
総数		100.0 (1,392)	39.1	8.7	0.9	0.2	14.4	0.9	11.6	2.2	59.0	8.2	25.8	14.9	10.0	0.0	0.0	0.6	1.9
性別	男	100.0 (710)	39.4	8.0	1.0	0.3	15.1	1.3	11.5	2.3	59.0	8.3	25.9	15.1	9.6	-	0.1	0.8	1.7
	女	100.0 (623)	38.4	9.0	0.8	0.2	13.8	0.5	11.7	2.4	59.7	8.0	26.2	14.4	10.9	0.2	-	0.3	1.9
年齢階級	0～2歳	100.0 (234)	98.3	15.8	2.1	1.3	64.5	4.3	-	10.3	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4
	3～5歳	100.0 (232)	99.6	25.9	2.6	-	17.7	0.4	50.9	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3
	6～8歳	100.0 (258)	22.5	6.2	0.4	-	0.4	0.4	14.3	0.8	77.1	29.1	47.7	-	0.4	-	-	-	1.6
	9～11歳	100.0 (209)	-	-	-	-	-	-	-	-	97.1	13.9	82.3	1.0	-	-	-	0.5	2.4
	12～14歳	100.0 (206)	-	-	-	-	-	-	-	-	99.5	1.9	24.8	71.4	1.5	-	-	0.5	-
	15～17歳	100.0 (194)	-	-	-	-	-	-	-	-	94.8	0.5	0.5	24.7	68.0	0.5	0.5	3.1	2.1
世帯類型	核家族世帯	100.0 (1,249)	39.6	9.0	0.9	0.2	15.0	0.8	11.5	2.2	58.5	8.6	25.4	14.7	9.8	0.0	0.0	0.6	2.0
	その他の親族世帯	100.0 (140)	33.6	6.4	1.4	-	9.3	2.1	12.1	2.1	63.6	5.0	29.3	17.1	12.1	-	-	1.4	1.4

（注）母集団は 18 歳未満の子ども 1,392 人で、本文 70p の母集団とは異なる。